

養液土耕法におけるスプレーギク定植方法の適応性

1. 試験のねらい

現在、花き類の定植方法として、本圃に直接挿し芽する直挿し処理、セル成型苗およびソイルブロック苗の定植が挙げられる。この3方法について養液土耕法への適応性を検討し、養液土耕法を用いたスプレーギク栽培の参考とする。

2. 試験方法

試験場所は場内花き温室で実施した。供試土壌は表層多腐植質黒ボク土。供試品種は White Weldon, Sunny Puma, Funrise の3品種を用いた。平成7年9月12日に栽培ベットに直挿し処理を行った。同時に電照を開始し、発根までの10日間は寒冷紗で遮光した。同じ9月12日にセルトレイ(128・角)とソイルブロックに挿し芽処理を行った。セルおよびソイルブロック苗は9月26日に定植した。消灯は10月9日で栄養生長期間は直挿しで4週、他は2週間とした。室温は最高25℃、最低18℃で管理した。養液土耕システムで養水分管理を行った。養水分管理プログラムは各区共通で、直挿し処理後2週から7週まで、液肥施用量は窒素、リン酸、カリ共通で75mg/m²、かん水量1.5l/m²で管理した。

なお、試験区の構成は次のとおり。

- 1区 直挿し処理区
- 2区 セル成型苗定植区(直挿し処理日と同日に挿し芽処理)
- 3区 ソイルブロック苗定植区()

3. 試験結果および考察

- (1) 開花期調査(12/6)の結果、セル成型苗およびソイルブロック定植区では、開花の進み具合が早く、ステージ4以上の株が70%以上であった。また、直挿し区では開花ステージにばらつきがみられた。
- (2) 切り花品質について。White Weldon: 茎長は、直挿し区>セル成型苗区>ソイルブロック区の順であった。花首長、茎径および葉数に差は無かった。着色花数および生体重は、セル成型苗区が最も多く、直挿し区およびソイルブロック区は同程度だった。Sunny Puma:セル成型苗区が茎長、葉数、着色花数および生体重が最も小さかった。Funrise:花首長および茎径に差は無かった。茎長、着色花数および生体重は、直挿し区>セル成型苗区>ソイルブロック区の順で大きかった。
- (3) スプレーフォーメーションは、3品種ともセル成型苗区が最もAおよびBタイプの割合が高かった。直挿し区の切り花は、3品種とも茎長が長く、生体重が大きかったが、スプレーフォーメーションを考慮すると、セル成型苗区が最も切り花品質が優れていると判断できた。

4. 成果の概要

セル成型苗定植が品種に関係なく高品質を確保でき、養液土耕法に最も適した定植方法であった。直挿し処理およびソイルブロック定植については、品種により切り花品質に差があり、適応する品種を事前に検討する必要がある。

(担当者 花き部 鈴木智久)

表-1 開花期調査結果 (12/6調査) 品種: White Weldon

区No.	開花ステージ						
	1	2	3	4	5	6	6<
1	10(%)	22	15	16	13	10	12
2	19	4	8	23	19	12	15
3	17	0	6	6	33	22	17

注) 開花ステージ 1-頂花開き始め。2-第2花開き始め。3-第3花開き始め。
4-第3花まで完全開花。5-第4花開花始め。6-4輪が完全開花。

表-2 切り花品質

品種名	区No.	開花 日	茎長 (cm)	花首長 (cm)	茎径 (mm)	着色 花数	生体重 (g)	S. F (%)		
								A	B	C
White Weldon	1	12/7	78.2	4.1	4.6	15.5	47.5	50	30	20
	2	12/6	74.4	3.9	4.7	18.5	48.5	69	23	8
	3	12/6	67.3	4.4	4.8	16.7	47.9	50	30	20
Sunny Puma	1	12/7	68.2	2.3	4.6	18.4	47.7	0	17	83
	2	12/7	64.6	3.7	4.5	16.4	40.3	0	80	20
	3	12/7	66.6	3.5	4.5	18.8	44.5	33	33	34
Funrise	1	12/3	73.1	2.6	4.0	23.1	41.5	40	30	30
	2	12/3	71.4	2.4	4.0	17.9	36.3	71	29	0
	3	12/1	64.2	2.6	3.8	14.0	27.0	60	30	10

注) スプレフォーメーションA-頂花を含め側枝5本以上に二次側蕾なしで、頂花と同じ位置に3輪以内。
B-頂花を含め側枝5本以上に二次側蕾なしで、頂花と同じ位置に4輪以内。
または
頂花と同じ位置に3輪以内で、頂花を含め側枝4本に二次側蕾なし。
C-頂花を含め側枝5本以上に二次側蕾なしで、頂花の位置が第2、3花より低い。